

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
みなみ花咲くまちづくり推進事業		みなみ花咲くまちづくり推進協議会			
事業目的	事業内容	活動指標	成 果		
			R3	R4	R5
南区の魅力である豊かな自然と人のつながりを活かし、花の植栽等の事業に取り組むことにより、南区を花で彩り、色彩豊かな美しいまちなみを創ることを目的とする。	(1)各校区内の遊休地等を活用したコミュニティガーデンを設置し、花を植栽する。 (2)花づくりのボランティア活動を通してまちづくり活動の輪を広げる。また、校区間の交流を図る。	ボランティア参加人数	19校区 ボランティア 合計数220名	18校区 ボランティア 合計数205名	17校区 ボランティア 合計数200名
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	本事業は、区民自らが南区を花で彩り、色彩豊かな美しいまちなみをつくることで、住民相互の親睦と交流が深まるとともに、区民意識の醸成を図ることが出来る。魅力ある地域づくりの推進にあたっては、区民自らが自区に愛着と誇りを持つ必要があるため、行政が実施すべき事業である。	○	各校区では協議会の推進員をリーダーにボランティアが活動を行っており、美しい魅力あるまちづくりを区民協働で推進している。 また、ふれあいまつりや講習会に開催に向けて、南区内の事業者と推進員が関わっているので、その点についても協働している。	○	平成21年7月「堺市環境活動表彰」受賞等の実績があり、南区をPRできる事業の一つとなっている。 また、今年度はコロナ禍以来のふれあいまつりに出店し、来場者に各校区で育てた花苗をプレゼントするなど本協議会のPRを行った。
○	4月に各校区から花壇の写真を送付していただくことにより、活動の把握を行っており、効率性が高いといえる。 また、活動保険の料金を見直し、経費の削減を行った。秋には南区内で講習会を開催し、各校区の推進員が一同に集まり、花植えに関する講座、寄せ植えを行った。				
⑤自立発展性		総合評価			
△	事業実施については、各校区とも主体的に地域の实情に応じた活動を行っているが、参加者の固定化やボランティア不足などにより、校区間で本事業の取組の格差もあり、現時点では自立発展性がやや低い。	○	推進員を中心に、ボランティアが各小学校区にコミュニティガーデンを設置し、色彩豊かな美しいまちなみを創っている。こうした花づくりのボランティア活動を通してまちづくり活動の輪、コミュニケーションの輪が広がっている。一方で、地域の高齢化や参加者の減少により地域コミュニティが希薄化しており、新たなボランティアの育成が必要となる。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	【課題など】 ・事業を継続するにあたり、地域の担い手の高齢化や、新たなボランティアの育成が必要である。 ・校区間の取組に格差がある。 【今後の取組】 ・高齢化や担い手の減少等の課題があることから、今後の事業内容や実施方法について検討する必要がある。 ・業務改善を行い、経費削減・効率化をめざしていく。				